



ファミリーめっせ 2014 企画書

ファミリーめっせ 2014 実行委員会・母力向上委員会

◇目次

1 ファミリーめっせの誕生	2
2 ファミリーめっせとは	2
①運営	
②足跡	
3 ファミリーめっせ 2014 の概要	4
①開催日時・場所	
②サブタイトル	
③動員見込み	
④期待される効果	
A) お母さんにとって	
B) 企業にとって	
C) 地域にとって	
⑤内容	9
4 全体スケジュール	10

1、ファミリーめっせの誕生

私たち母力向上委員会は、「子どもを育てることに費やす時間の多いお母さんが笑顔であれば、家族みんなが笑顔になれる」「笑顔の家族が増えれば、家族を取り巻く周りの人たちも笑顔になる」と考えています。つまり…

お母さん Happy

=

世の中 Happy

という考えを持ち、月に一度、妊婦さんやお母さん達が出会い、学び合う場所づくりとして、お産を語る会やワークショップを行ってきました。

「こうした活動をもっと地域の多くの人たちにも見てもらいたい」という思いから、ファミリーめっせが 2009 年に誕生しました。

2、ファミリーめっせとは

ファミリーめっせとは、子育て中のお母さんたちが手作りする、お母さんたちが自分らしく輝くためのきっかけの場創りを大きな目的として開催する、お母さんたちのための文化祭のようなイベントです。

参加した来場者(お母さん)たちが、出展者(企業や子育てサポーターなど)に出逢うことによって、地域で出産や子育てを安心してできるようになることを願って開催しています。2009 年の第 1 回目から毎年開催し、今年で 6 回目となります。

①運営

ファミリーめっせの運営は、毎年、ファミリーめっせ実行委員会を組織して行っており、母力向上委員会の運営メンバーと主に富士、富士宮市内の子育て真っ最中のお母さんにより構成されています。

●ファミリーめっせ実行委員の大切な役割

1. 子育てに加えて、夢中になれることを子育てしながら見つける
2. 子どもを連れて、ファミリーめっせというイベントを楽しみながら築き上げる
3. 出会った仲間たちと共に、大きな達成感を感じてもらう
4. 子連れで楽しみながら活動する姿が、同じように子育てしているお母さんに感動と勇気を与える

実行委員の中にはお客さんとしてファミリーめっせに来場し、翌年、実行委員を志願して活躍してくれるお母さんがたくさんいます。自分と同じ子育て中のお母さんである実行委員のいきいきとした姿を見て、「子どもがいても、私にもできるかもしれない、私もやってみたい」という思いで志願してくれているのです。



②足跡

毎年、特化して目指す目的を定めて運営しており、それをサブタイトルとしてつけています。来場者は初回の2009年は、500名程度でしたが、第2回目以降、約1000の方が来場していただいています。

●第1回 ファミリーめっせ 2009 ～明日への活力を umidas～

2009年10月18日 富士宮市民文化会館 来場者約500名

産後ケアや誕生学などの講座、ベビーマッサージや大人向けのハンドマッサージ、ハンドメイド雑貨や絵本などの販売ブース、パネルトーク「出産をプラスにする生き方」など

●第2回 ファミリーめっせ 2010 ～つながり奏でる～

2010年11月23日 富士宮市民文化会館 来場者約1000名

自分磨き講座(ベビーマッサージ、家計診断、整理収納講座、いのちの講座など)、乳がん自己検診法、ヘアアレンジ講座、手遊び歌など

●第3回 ファミリーめっせ 2011 ～生まれる奇跡&はぐくむ絆～

2011年10月30日 富士宮市総合福祉会館 来場者約1000名

映画「生まれる」上映および監督トークショー、大人の学び講座(家庭と仕事の両立、マッサージ&ストレッチ、マタニティヨガ)、カプラ、ウッドボール、森の素材を利用したワークショップなど

●第4回 ファミリーめっせ 2012 ～お母さんが umidas 宝物～

2012年7月28日 ゲストハウスフォレストヒルズ シャンベルコート 来場者約1000名 出店24ブース

お母さんが作るハンドメイドの小物、服飾品の販売、デコ体験、ボディアートなどのワークショップ、大人向けのバランスボール体験、リトミックや親子体操、授乳ショー、ゴスペルなどのステージ、

特設ホームページ：<http://famime2012.jimdo.com/>

●第5回 ファミリーめっせ 2013 ～お母さんが選ぶ、明日の Smile(えがお)～

2013年7月27日 ゲストハウスフォレストヒルズ シャンベルコート 来場者約1200名 出店29ブース

ハンドメイド品の販売、デコ体験、フォトフレーム作りなどのワークショップ、ハンドマッサージなどお母さん向けの癒し体験、3B体操、タップダンス、授乳ショー、ゴスペルなどのステージ、お母さんのための子育て役立ち情報の展示

特設ホームページ：<http://famime.jimdo.com/>

フェイスブック：ファミリーめっせ 2013

ブログ：<http://famime2013.seesaa.net/>

3、ファミリーめっせ 2014 の概要

①開催日時・場所

日時:2014 年 7 月 21 日(月祝) 10 時~15 時

場所:ゲストハウス フォレストヒルズ シャンベルコート

(富士宮市黒田 205-1) <http://forest-hills.co.jp>

②動員見込み

約 1200 人

③サブタイトル

「お母さんも蒔こう、夢の種」

ここで「お母さん」とは、妊娠中の人、0歳~未就学児を持つ母を指し、この「お母さん」をファミリーめっせ 2014 のメインターゲットとします。

子どもの頃誰しもが描く夢が、子育て中のお母さんにとって、非常に敷居の高いものになっています。家事、育児、仕事など、日々の忙しさに追われ、自分自身について考える機会や時間も少なく、「夢をみる」という行為すらなくなっているのが現状です。しかし、生きていれば必ず未来は存在し、お母さんにも「~だったらいいな」「〇〇したい」という思いは必ず存在します。

「夢」は「~になりたい」という大きなものだけではなく、「〇〇がしたい」「〇〇に行きたい」など、日常にありふれたやりたいこと全てを指します。

妊娠、出産を経て子育てが始まってから、お母さんは自分よりも子どもや家族を優先し、それまで当たり前に行っていたこと、例えば、十分な睡眠を摂りたい、ゆっくりと食事を摂りたいといった生活の基本的なことまでもができないと感じ、お母さんの「夢」となっています。こうした自分自身の「夢」について改めて考えることは貴重で、改めて自分自身を見つめる良い機会になります。

夢は生きる原動力になり得ると考えられ、子どもにも夢を持って自分の人生を生きてほしいと考えるとき、子育ての多くを担うお母さん自身が夢をみて、その実現に向かって努力する姿は、そのまま子どもが自然に夢を持つことの一步になるはずで

だからこそ、お母さんが夢をみること、自分自身を見つめ直すことは必要であり、そのきっかけをファミリーめっせ 2014 で与えたいと考えています。

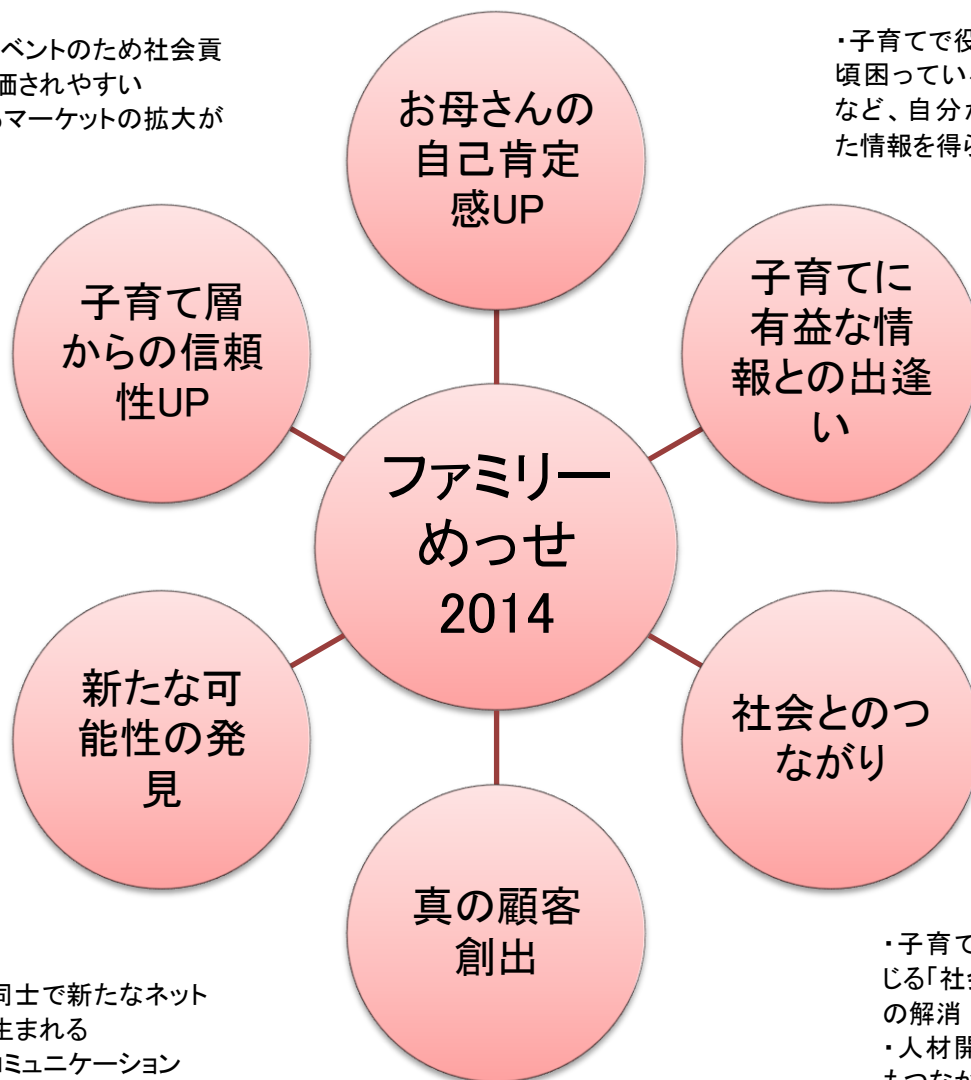
また、お母さんが夢を実現しようと行動する場合、家族や友達、地域のサポーターの協力は必要不可欠です。サポートを得ることでお母さんの夢は実現により近づきます。お母さん自身が夢を描き、その夢を、家族や子ども、企業、そして地域が知り、感じることで、お母さんたちの夢の実現へのサポーターとなることをねらいとしています。

④期待される効果

- ・ファミリーめっせの想いを共有している企業への母達の期待、好感度が高まる
- ・母が主体のイベントのため社会貢献的要素が評価されやすい
- ・クチコミによるマーケットの拡大が狙える

- ・出逢った仲間たちと目標に向かって努め、大きな達成感を得る
- ・自分自身を見つめ直し、夢について考えることで充実感を得る

- ・子育てで役立つこと、日頃困っていることの解決など、自分が知らなかった情報を得られる



- ・出店者同士で新たなネットワークが生まれる
- ・異業種コミュニケーション
- ・母目線を現場で実感することで得るヒントの獲得
- ・新しいマーケットへの展開

- ・絞られたターゲットに対してダイレクトなメッセージ発信ができる。
- ・より多くのターゲットの生の声を身近に聞くことができる

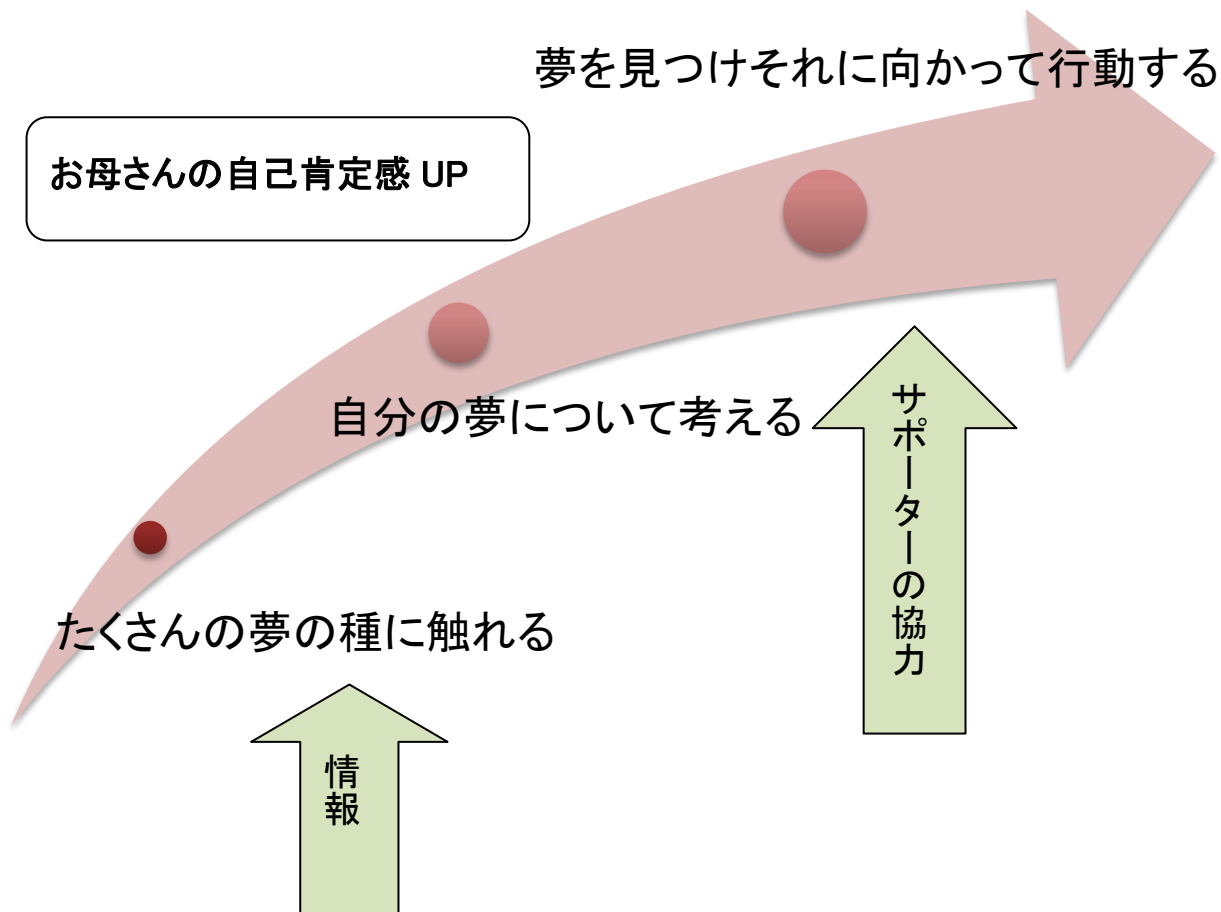
- ・子育てしている時に感じる「社会からの疎外感」の解消
- ・人材開発・人材確保にもつながる

A) 来場者にとって

ファミリーめっせで会う人や会うこと、さまざまな情報の中から「私はこれをやりたい」という、夢に触れ、自分の夢について改めて考え、意識し、それに向かって行動を起こすことで、自分で「自分はこれで大丈夫」と思える自己肯定感のあるお母さんが増えます。

また、夢について考え、それを家族や周りに知ってもらうことで、夢の実現へのサポートを得られます。

地域に存在する子育てに役立つこと、日頃困っていることの解決など自分が知らなかった情報も得ることができます。



※お母さんの自己肯定感＝お母さん自身が自分で「私はこれで大丈夫」と思えること

B) 企業にとって

ファミリーめっせに参加することで、企業には以下のような効果が得られます。



C) 地域にとって

ファミリーめっせで生まれた出逢いにより、以下のような効果が地域にまで発展すると期待されます。

お母さん(来場者)

ファミリーめっせで子育て世代に対し本気で応援してくれる企業に出逢う。
より有益な専門的技術や知識のプロの存在を知る。



企業(出店者)

暮らしの中で必要に応じ、ファミリーめっせで得た情報・出逢いを活かそうとコンタクトをとる。
各社、得意のサービス・技術の提供。顧客創出につながり近い未来・遠い未来ともに利益につながる関係がスタートする。



地域・社会

ここまでの流れで起こった感動が母達のネットワークで広がり、地域に笑顔の子連れ世代が溢れるようになる。

企業とお母さんが地域で創る次世代育成のための環境が整っていくことで出産や子育てを安心してできるお母さんが増える。

<参考>過去のファミリーめっせ参加者からの声

●来場者

- ・ママとして気持ちを共有できる人たちばかりなのでよかった
- ・お母さんのパワーはすごいなと思いました
- ・子どもと一緒に体験できる機会がありとても楽しかったです。
- ・感動しました
- ・育児に追われて忙しい皆さんがこのようなイベントを企画運営され、イキイキ、ハツラツとした姿が美しかったです。
- ・親子で参加できてとても楽しかったです。

●実行委員

- ・初めての人と知り合えた
- ・みんなで笑顔で仕事ができることがよかった
- ・久々に子育て以外の仕事ができ
- ・久々に大きな声を出した
- ・自分の力が何か役に立てたことがうれしかった
- ・生き生きしていると友達に言われたことがうれしかった
- ・達成した感がある
- ・やればできると思った
- ・子育てしながらできることはまだまだあるんだなと思った

●参加企業様

- ・企業主導のイベントは多いが、母達が手作りでやっているイベントの雰囲気感動した。
- ・地域に貢献したいという姿が見えた。また、富士宮・富士の良い地域性も感じられた。
- ・ターゲットが絞られていたのがやりやすく良かった。マッチングできた。
- ・出展者としても企業イベントに出るよりも得るものが多かった！
- ・アンケートがたくさん取れた。
- ・契約につながる申し込み予約がたくさん取れた。
- ・お母さんたちの元気な姿に感動した！来年も出展したい！

⑤内容

母力向上委員会では2014年1月に、お母さんがそれぞれ自分の夢を100個書いてみる「100Dreams ワークショップ」を行いました。その際に触れた、さまざまなお母さんのたくさんの夢などを参考に、「お母さんの夢」を大きく5つに分類しました。

① お母さんがやりたい、なりたい

例)きれいでいたい、自分時間を作りたい、子どもに余裕を持って接したい、～の資格を取りたい、イライラしない母になる、(家族のために)料理上手になりたい、やりたいことを仕事にしたい、など

② 子どもにこうなってほしい、子ども自身の夢を応援したい

例)心豊かな子どもに育ててほしい、何歳になっても何でも話してほしい、子どもが〇〇になってほしい、など

③ 親子(父と子、母と子)で楽しみたいこと

例)子どもと旅行に行きたい、将来一緒に〇〇したい、子どもとの時間をもっと作ってあげたい、など

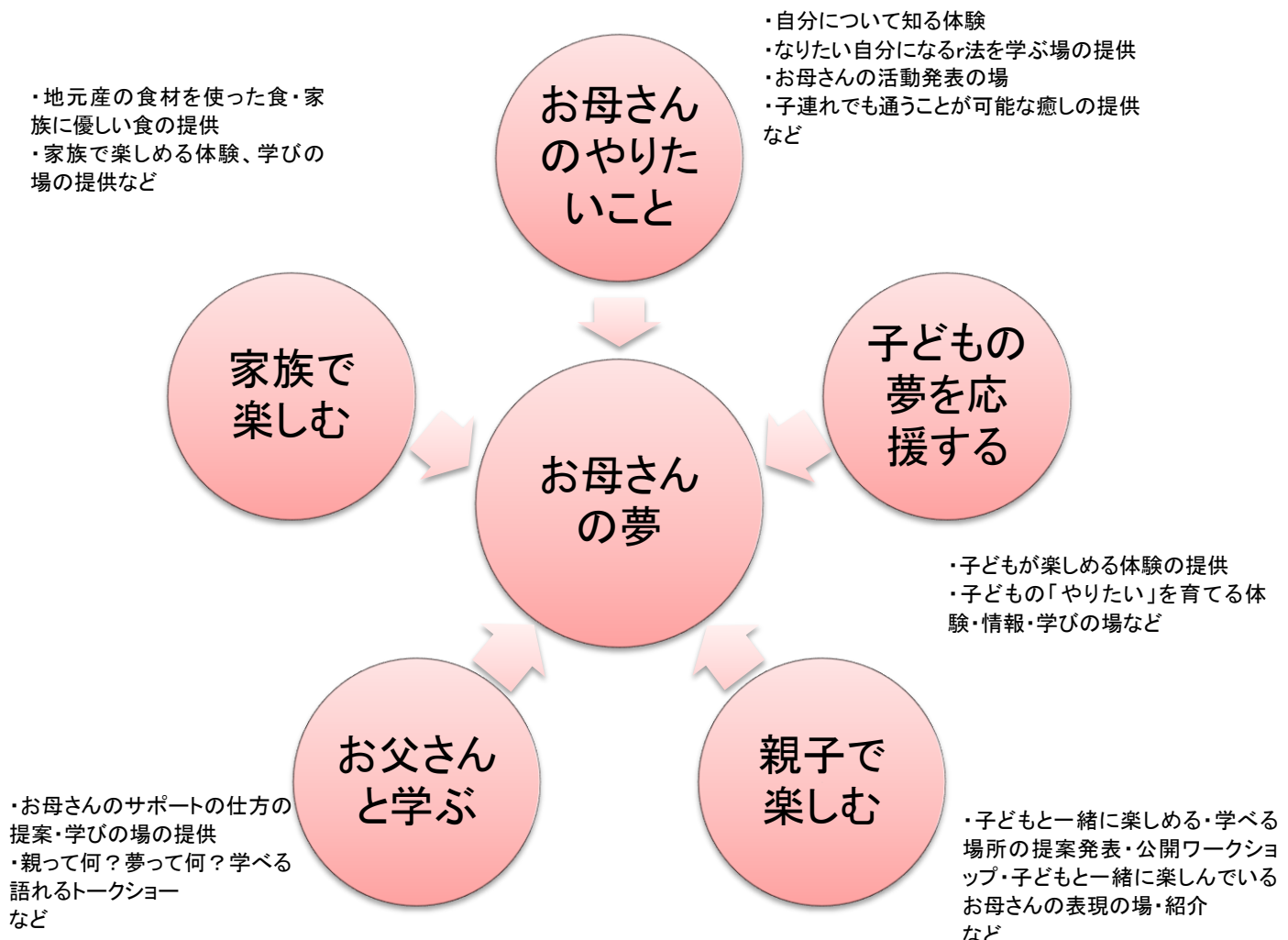
④ お母さんがお父さんと一緒にやりたい、学びたいこと

例)～のためお金を貯めたい、夫婦で老後を楽しみたい、お父さんの仕事を応援したい、共通の趣味を持ちたい、など

⑤ 家族で楽しみたいこと

例)家を建てたい、家族のために健康にいい食事を心がけたい、家族で旅行に行きたい、庭づくり、家庭菜園に挑戦したい、リビングをすっきりしたい、キャンプに行きたい、など

このようにお母さんは「自分自身がやりたい」ということだけでなく、家族と一緒に、子どもと一緒に、ということも夢として考えています。ファミリーめっせ 2014 は、5つに分類した「お母さんの夢」を基に内容を構成し、それらを来場者に触れてもらおう「夢の種」とします。



4、全体スケジュール

- 3月 出店者募集開始
- 4月 WEB などでの告知スタート、当日ボランティア募集開始
- 5月 出店者決定、チラシ制作、係ごとのミーティング・作業スタート、
- 6月 チラシ配布、準備全般
- 7月 準備全般、事前説明会(出展者との顔合わせも含む)